

**平成15年1月期  
中間期  
決算概況**

**株式会社 ACCESS  
平成14年9月13日**



## 本資料についての注意点

- 本資料に含まれる業績目標等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであります。
- 将来数値には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来数値と異なる場合がありますので、この将来数値に全面的に依拠して投資等の判断を行なうことは差し控えてください。



# 本決算のポイント

---

- \* **連結業績は、売上高2,745百万円、経常損失 902百万円**

携帯電話の新機種の製品リリースの遅れにより、単体のロイヤリティー収入は期初計画より約2億円減少し、営業損失もほぼ同額増加したが、欧州での国際iモードによる、ASEの損益均衡の達成及びASAでの経費削減により、経常損失は期初計画より63百万円の増加にとどめる。

- \* **単体業績は、売上高2,375百万円、経常損失 374百万円**

携帯電話の新機種の製品リリースの遅れにより、期初計画よりロイヤリティー収入が約2億減少し、営業損失もほぼ同額増加。

- \* **単体の売上構成におけるロイヤリティー比率は、30%に減少（前年通期40%）**

- \* **A X事業（連結子会社）の整理に伴う特別損失 140百万円（単体）、M B C C（持分法適用関連会社）の清算に伴う特別損失 29百万円（連結・単体）を計上**

# 第2四半期（5月～7月）のハイライト

## 連結

(百万円)	実績	予想レンジ	想 定	未 確 定 要 素	コ メ ント
売上高	1,377	1,657 ~ 1,750	・ASA 北米及び南米でのマーケットの立上りは、下期以降に	・北米でのマーケットの立上りの速度	・携帯電話の新機種の製品リリースの遅れによるロイヤリティー収入の予想を上回る減少
営業利益	468	210 ~ 160	・ASE 欧州での国際imodeの売上寄与は、Q2以降に	・欧州での国際imodeの普及度合による当社ロイヤリティー収入への影響	・次世代携帯電話向けブラウザの研究開発費の負担増
経常利益	455	209 ~ 160	・AP 出版売上を上期は、前期並みに想定	・新規広告、デジタル・コンテンツの売上寄与の時期	・MBC (特分法適用関連会社)の清算に伴う特別損失 29百万円
当期純利益	492	210 ~ 160	・AX 今期よりポータル事業の取組を強化	・ポータル事業の本業への貢献度合	

## 単 体

(百万円)	実績	予想レンジ	想 定	未 確 定 要 素	コ メ ント
売上高	1,158	1,400 ~ 1,500	・売上構成比 (通期予想) 製品:ロイヤリティー=64:36	・NTTドコモを中心とした携帯電話の新機種による当社ロイヤリティー収入への影響	・携帯電話の新機種の製品リリースの遅れによるロイヤリティー収入の予想を上回る減少
営業利益	279	0 ~ 50	・製品粗利率 (通期予想) 45%		・売上構成比 (Q0実績) 製品:ロイヤリティー=66:34
経常利益	291	1 ~ 50	・売上高販管費比率 (通期予想) 56%		・製品粗利率 (Q0実績) 54%
当期純利益	481	0 ~ 50			・次世代携帯電話向けブラウザの研究開発費の負担増 ・AX事業 (連結子会社)の整理に伴う特別損失 140百万円

# 中間期（2月～7月）のハイライト

## 連結

(百万円)	実績	予想レンジ	想 定	未 確 定 要 素	コ メ ン ト
売上高	2,745	2,857 ~ 3,250	・ASA 北米及び南米でのマーケットの立上りは、下期以降に	・北米でのマーケットの立上りの速度	・携帯電話の新機種の製品リリースの遅れによるロイヤリティー収入の予想を上回る減少
営業利益	900	840 ~ 510	・ASE 欧州での国際 imodeの売上寄与は、Q2以降に	・欧州での国際 imodeの普及度合による当社ロイヤリティー収入への影響	・次世代携帯電話向けブラウザの研究開発費の負担増
経常利益	902	839 ~ 510	・AP 出版売上を上期は、前期並みに想定	・新規広告、デジタル・コンテンツの売上寄与の時期	・MBCC (持分法適用関連会社)の清算に伴う特別損失 29百万円
当期純利益	915	840 ~ 510	・AX 今期より ポータル事業の取組を強化	・ポータル事業の本業への貢献度合	

## 単 体

(百万円)	実績	予想レンジ	想 定	未 確 定 要 素	コ メ ン ト
売上高	2,375	2,550 ~ 2,800	・売上構成比 (通期予想) 製品 :ロイヤリティー=64 :36	・NTTドコモを中心とした携帯電話の新機種による当社ロイヤリティー収入への影響	・携帯電話の新機種の製品リリースの遅れによるロイヤリティー収入の予想を上回る減少
営業利益	359	180 ~ 10	・製品粗利率 (通期予想) 45%		・売上構成比 (中間期実績) 製品 :ロイヤリティー=70 :30
経常利益	374	179 ~ 10	・売上高販管費比率 (通期予想) 56%		・製品粗利率 (中間期実績) 53%
当期純利益	564	180 ~ 10			・次世代携帯電話向けブラウザの研究開発費の負担増 ・AX事業 (連結子会社)の整理に伴う特別損失 140百万円

# 連結決算ハイライト (第2四半期・中間期)

連結対象会社：連結子会社4社、持分法適用関連会社4社

(百万円)	第2四半期 (当期)	第2四半期 (前年同期)	前年 同期比	中間期 (当期)	中間期 (前年同期)	前年 同期比	前年通期	前年 通期比
売上高	1,377	1,119	23.1%	2,745	2,284	20.2%	5,064	54.2%
売上総利益	937	705	32.8%	1,786	1,204	48.3%	2,960	60.3%
販管費	1,406	871	61.4%	2,686	1,622	65.6%	3,739	71.8%
営業損失	468	165	-	900	417	-	779	-
持分法による投資損益	19	142	-	6	213	-	262	-
経常損失	455	303	-	902	652	-	1,060	-
特別損失	48	1	-	48	1	-	365	-
少数株主損失	12	0	-	38	0	-	1	-
当期純損失	492	306	-	915	655	-	1,379	-
持分法投資損益	19	142		6	213		262	
ヴィ・ソニック	-	-		-	-		-	
アイティアアクセス	-	70		-	83		83	
セガ・アクセス	19	1		16	4		16	
ぶうば(*)	-	12		-	20		23	
MBCC(*)	-	60		10	103		157	
EXEmobile	-	3		-	9		14	

(\*) 現在、持分法適用関係会社から外れております。

# 連結各子会社の業績（第2四半期：5月-7月）

ASA：アクセス・システムズ・アメリカ・インク

ASE：アクセス・システムズ・ヨーロッパ・ゲー・エム・ペー・ハー

AP：株式会社アクセス・パブリッシング

AX：株式会社アクセス・クロッシング

（百万円）	ACCESS	ASA	ASE	AP	AX	修正	連結合計
売上高	1,158	34	123	131	18	88	1,377
売上総利益	792	20	123	46	12	57	937
販管費	1,071	201	116	73	57	114	1,406
営業損益	279	180	7	27	45	56	468
持分法による投資損益	-	-	-	-	-	19	19
経常損益	291	179	10	27	45	78	455
特別損失	187	-	-	-	0	140	48
少数株主損失	-	-	-	-	-	12	12
当期純損益	481	179	10	27	46	231	492

# 連結各子会社の業績（中間期：2月-7月）

ASA：アクセス・システムズ・アメリカ・インク

ASE：アクセス・システムズ・ヨーロッパ・ゲー・エム・ペー・ハー

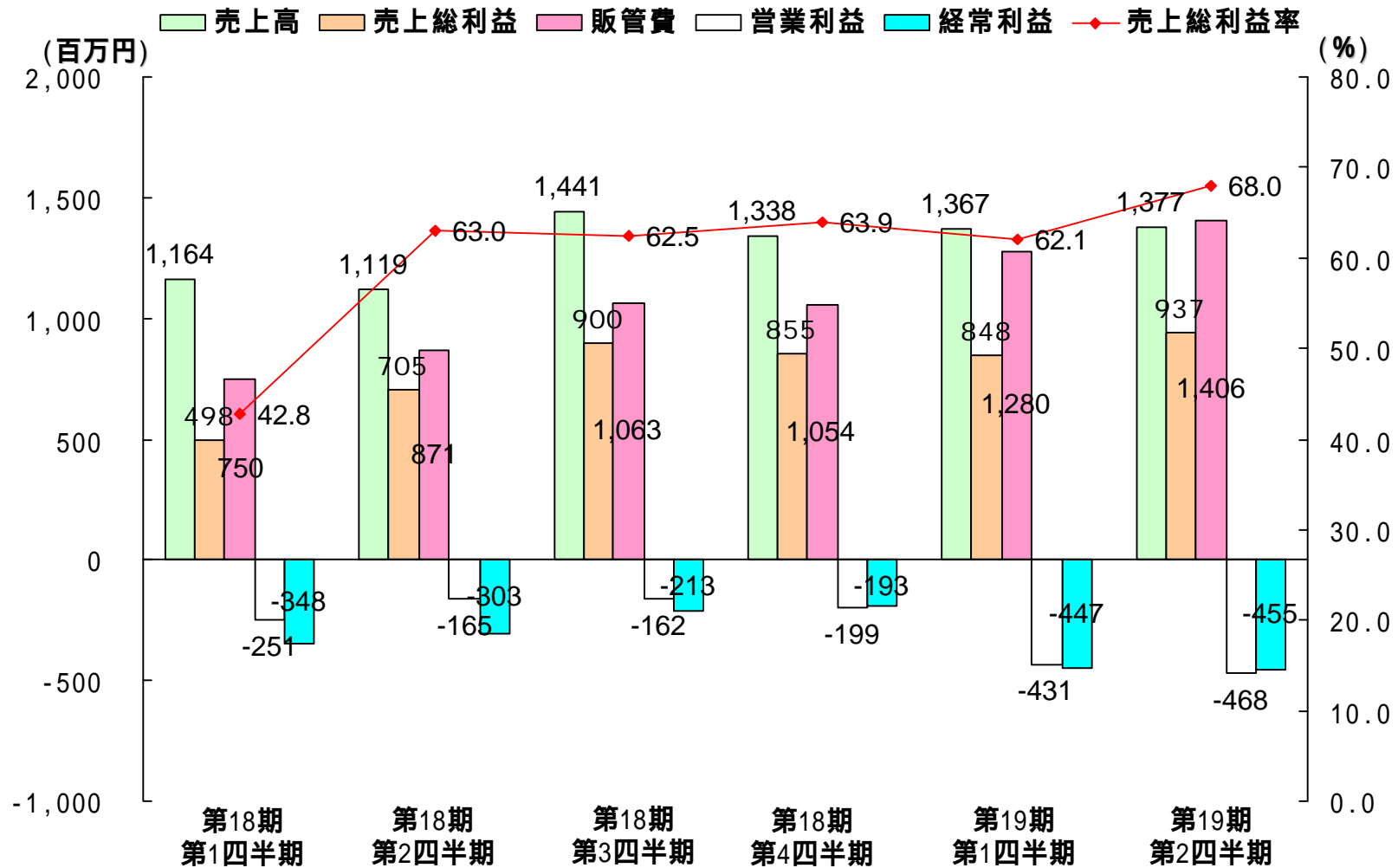
AP：株式会社アクセス・パブリッシング

AX：株式会社アクセス・クロッシング

（百万円）	ACCESS	ASA	ASE	AP	AX	修正	連結合計
売上高	2,375	63	205	214	58	172	2,745
売上総利益	1,566	41	205	58	39	126	1,786
販管費	1,926	435	209	141	148	175	2,686
営業損失	359	393	3	82	108	48	900
持分法による投資損益	-	-	-	-	-	6	6
経常損失	374	393	0	83	108	57	902
特別損失	187	-	-	-	0	140	48
少数株主損失	-	-	-	-	-	38	38
当期純損失	564	393	0	83	109	235	915



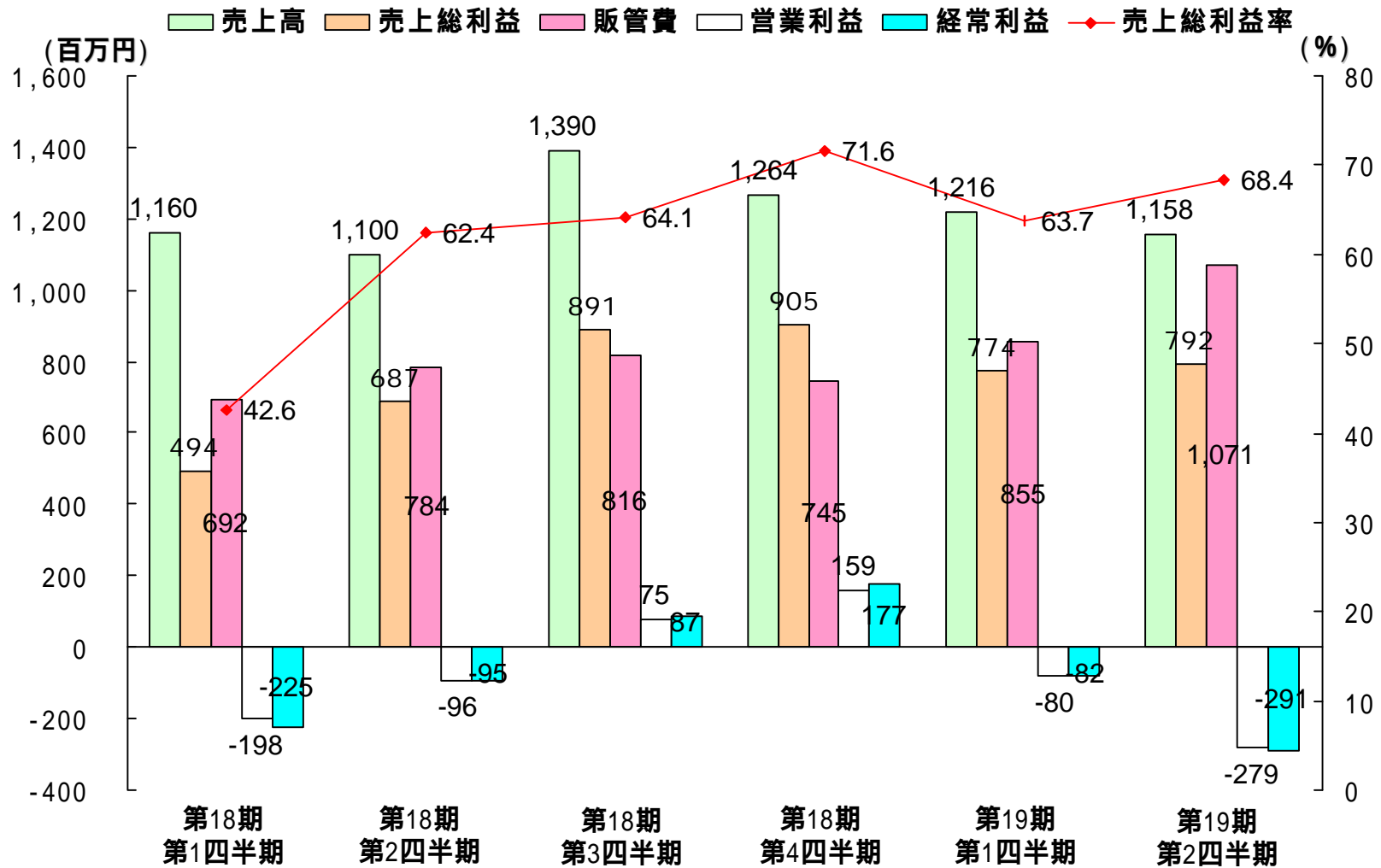
# 四半期毎の売上高等の推移（連結）



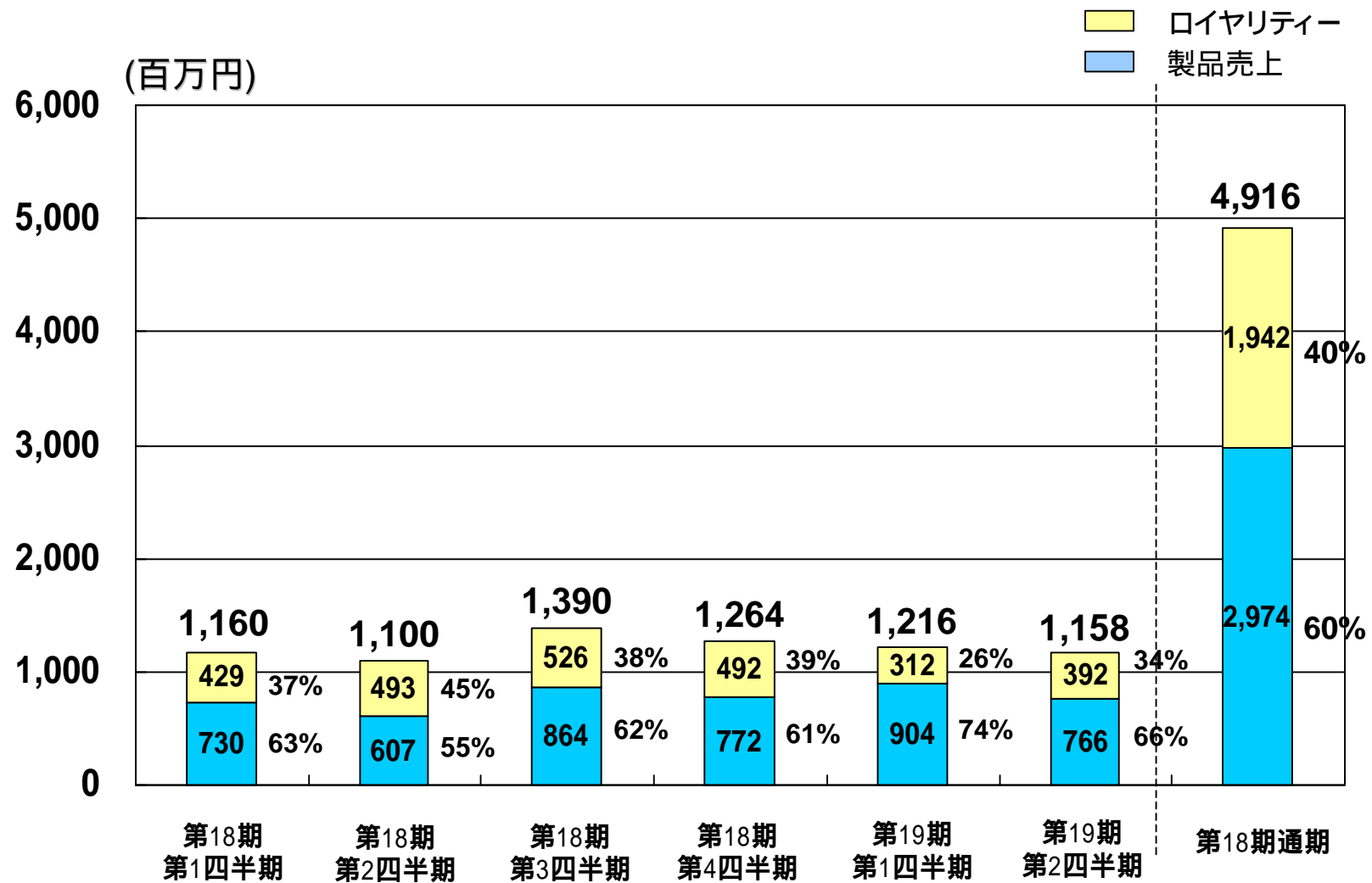
# 単体決算ハイライト（第2四半期・中間期）

（百万円）	第2四半期 （当期）	第2四半期 （前年同期）	前年 同期比	中間期 （当期）	中間期 （前年同期）	前年 同期比	前年通期	前年 通期比
売上高	1,158	1,100	5.2%	2,375	2,261	5.0%	4,916	48.3%
売上総利益	792	687	15.3%	1,566	1,181	32.6%	2,978	52.6%
売上総利益率	68.4%	62.4%	-	66.0%	52.2%	-	60.6%	-
販管費	1,071	784	36.7%	1,926	1,476	30.5%	3,038	63.4%
営業損失	279	96	-	359	295	-	59	-
経常損失	291	95	-	374	321	-	56	-
特別損失	187	1	-	187	1	-	609	-
当期純損失	481	97	-	564	324	-	621	-

# 四半期毎の売上高等の推移（単体）



# 売上高の推移（単体）

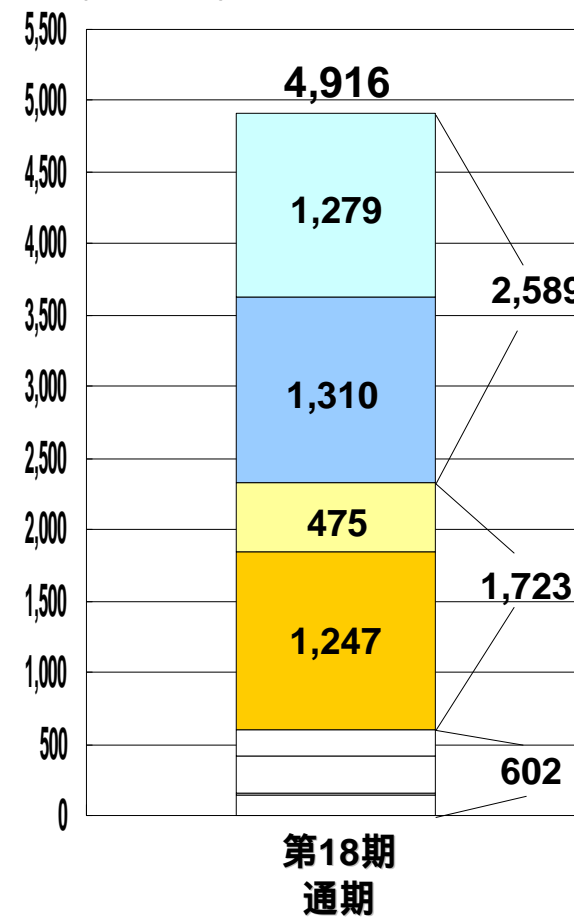
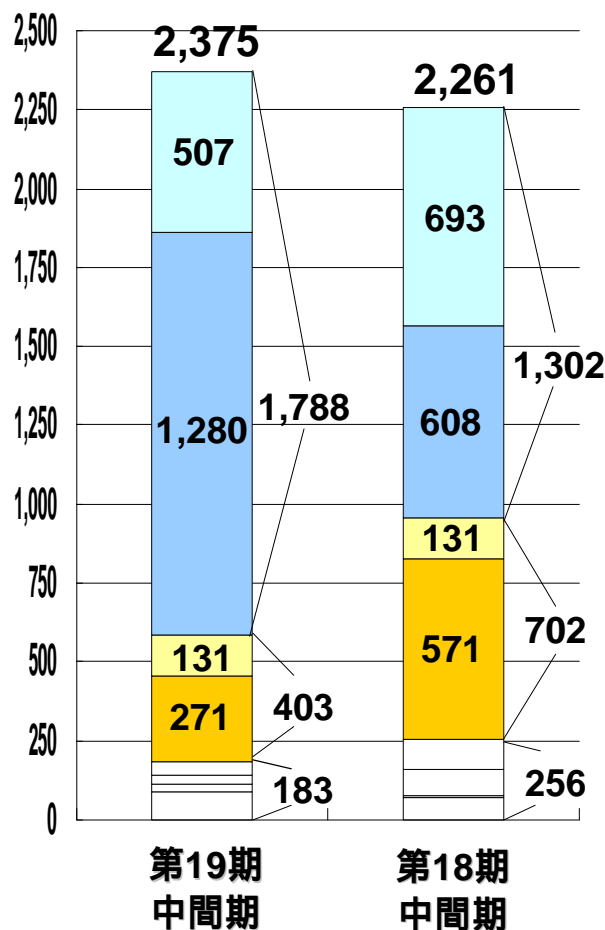
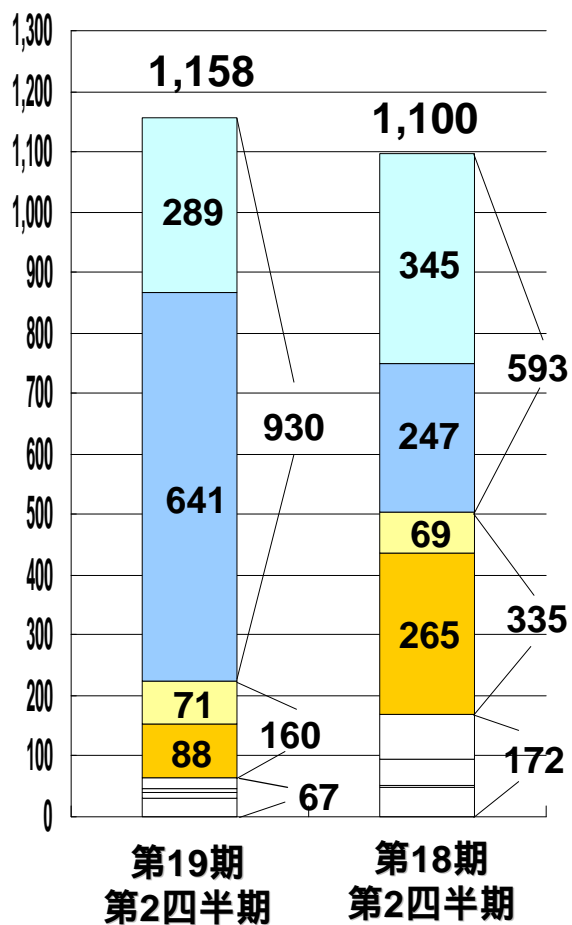


# 各売上高の内訳（単体：第2四半期・中間期）

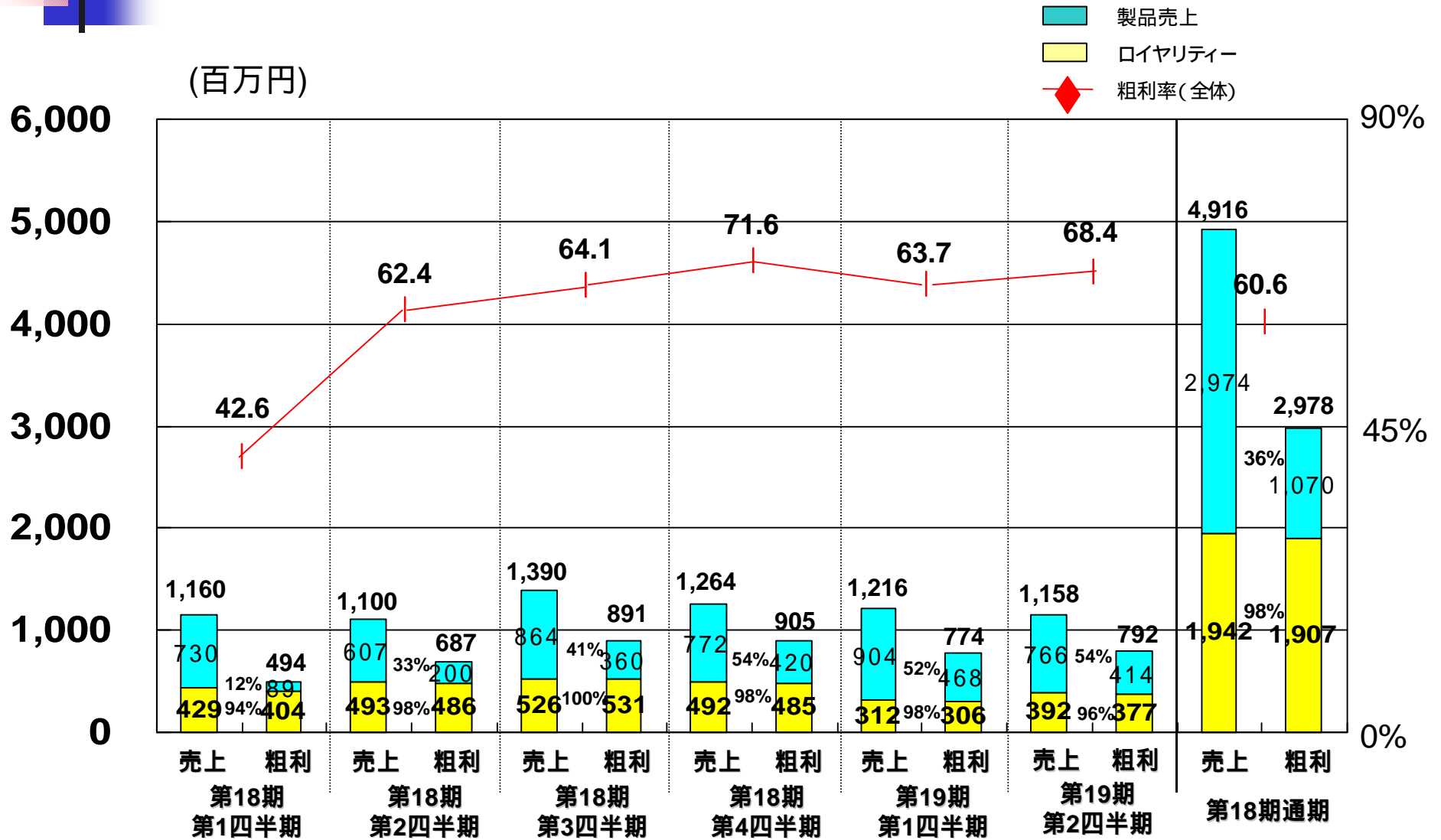
- 移動体情報端末(ロイヤリティー)
  移動体情報端末(製品)
- 固定屋内情報端末(ロイヤリティー)
  固定屋内情報端末(製品)
- 基盤開発・受託開発・その他(ロイヤリティー+製品)

(百万円)

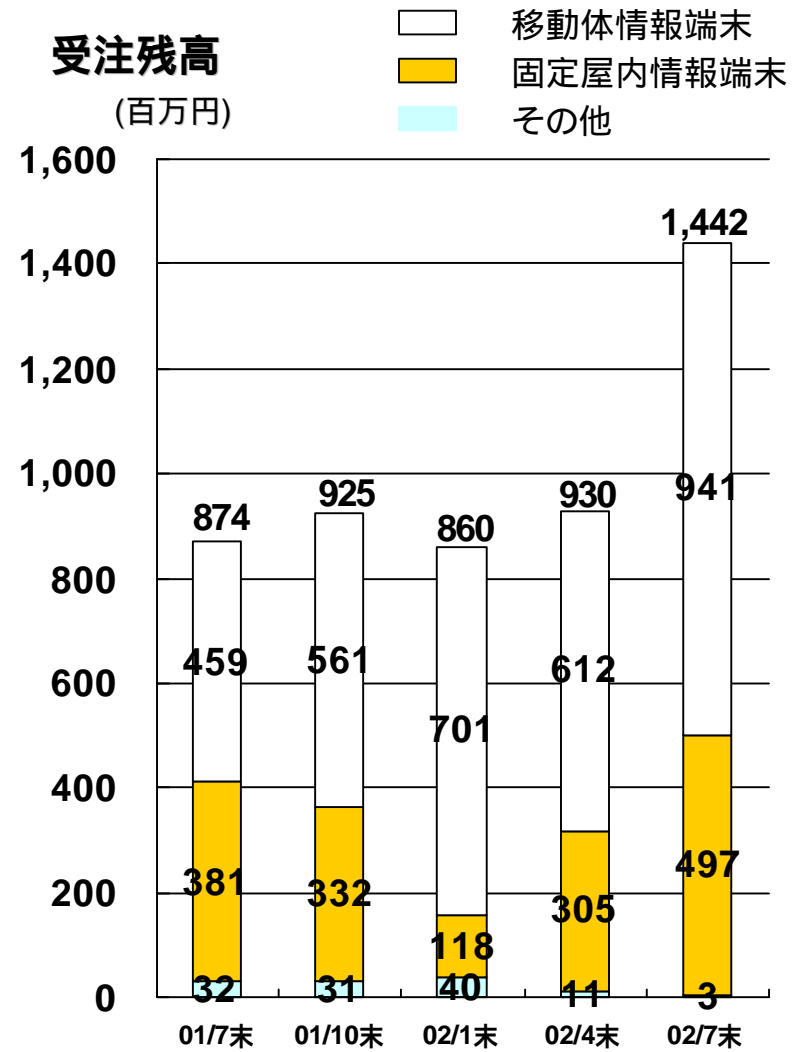
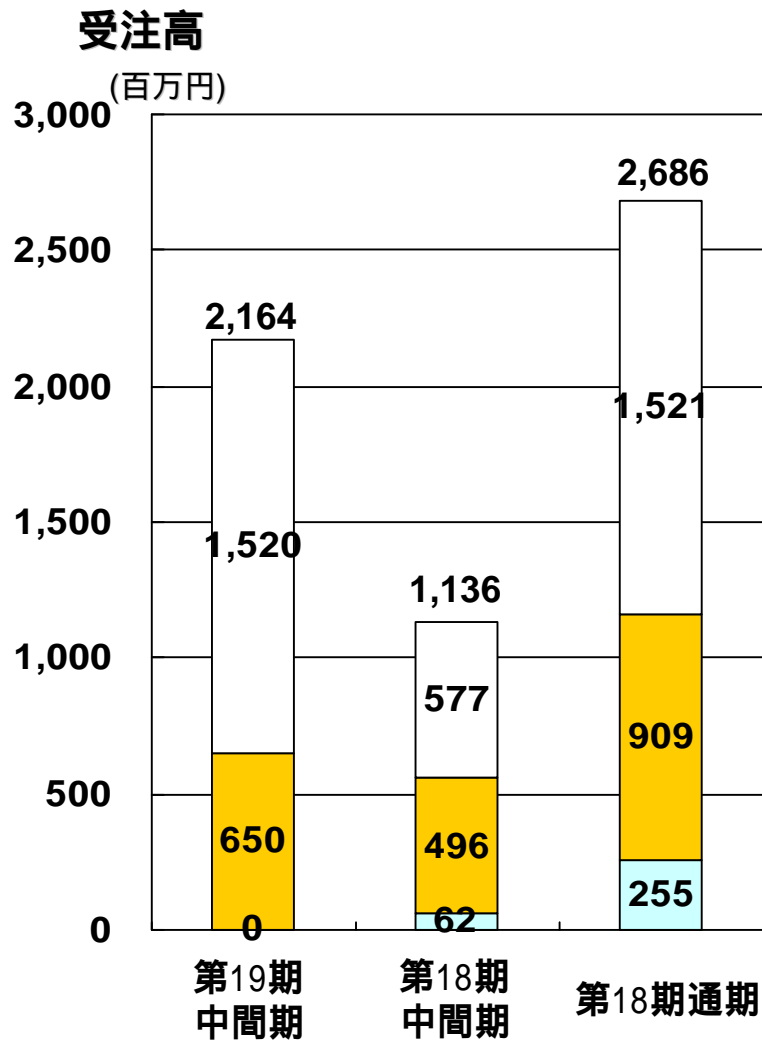
(百万円)



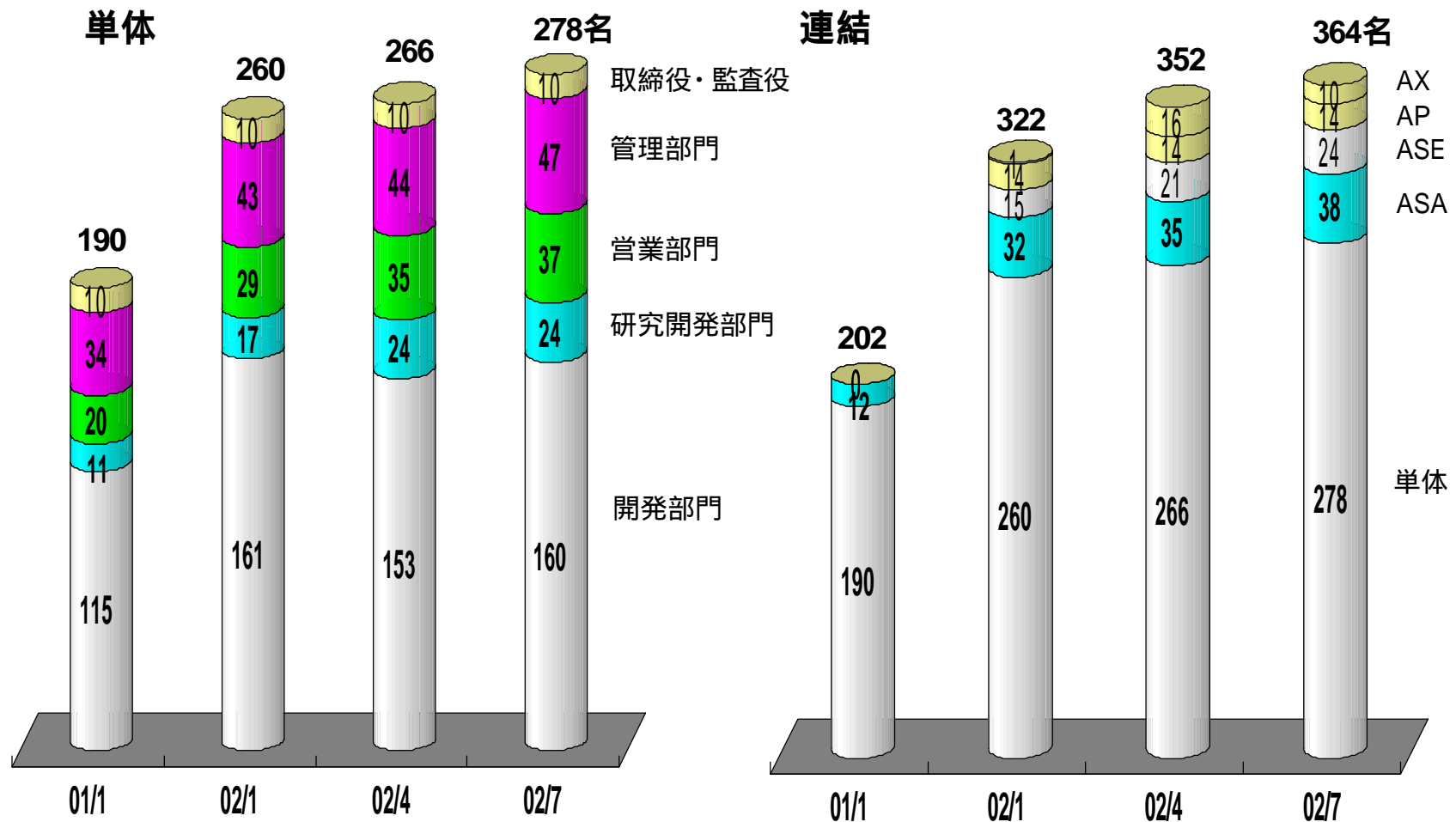
# 売上総利益の推移（単体）



# 受託開発の受注状況（単体）



# 従業員の推移（単体・連結）





# 連結貸借対照表（要約）

（百万円）	第19期中間期末	第18期中間期末	第18期期末
・ 流動資産			
現金・預金+MMF等	2,200	2,848	3,208
売上債権	1,103	584	939
たな卸資産	357	485	457
その他	294	127	171
・ 固定資産			
有形固定資産	622	571	602
無形固定資産	122	72	98
投資その他の資産	517	1,046	545
・ 繰延資産	-	0	-
合　　計	5,219	5,737	6,023
・ 流動負債	947	688	727
・ 固定負債	67	85	74
少数株主持分	0	40	38
・ 自己資本	4,205	4,922	5,182
合　　計	5,219	5,737	6,023

# 単体貸借対照表（要約）

（百万円）	第19期中間期末	第18期中間期末	第18期期末
・ 流動資産			
現金・預金+MMF等	1,862	1,881	2,650
売上債権	936	581	829
たな卸資産	362	485	456
その他	370	135	247
・ 固定資産			
有形固定資産	543	552	515
無形固定資産	107	72	72
投資その他の資産	1,869	2,386	1,740
・ 繰延資産	-	0	-
合 計	6,051	6,096	6,512
・ 流動負債	629	701	529
・ 固定負債	48	85	52
・ 自己資本	5,374	5,309	5,930
合 計	6,051	6,096	6,512

# 連結キャッシュ・フローの状況（要約）

(百万円)	第19期 中間期	第18期 中間期	第18期 通期
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー	929	466	1,070
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー	613	147	976
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー	248	1,950	2,875
・ 現金及び現金同等物 増加/減少額	1,312	1,361	903
・ 現金及び現金同等物 期首残高	2,364	1,460	1,460
・ 現金及び現金同等物 期末残高	1,051	2,822	2,364

大口定期への預入れ: 308百万円  
 固定資産の取得: 109百万円  
 貸付金: 101百万円

子会社での銀行借入金: 226百万円

2002年2月  
 マザーズ上場による  
 資金調達: 2,125百万円

2002年8月  
 携帯電話メーカー4社への  
 第三者割当増資による  
 資金調達: 932百万円